

## 多文化共生・文化相対主義 練習

### ケース 1

わたしは小学校の担任をしています。クラスにイスラム教徒の女の子を受け入れています。いろいろな問題を抱えています。まず、プールの時間は絶対入ろうとしないのでこまっています。先日は、運動会の練習をしているときに、グラウンドで転んでしまいました。保健室で傷口の消毒をして、その日は家に帰したのですが、そのあと、保護者から、ものすごい勢いで、けがの処置のことで怒られてしまいました。でも、言葉がよく通じず、自分も何が悪かったのかいまだにわかりません。

### ケース 2

わたしは韓国から日本に留学に来ています。午前中の授業が終わってから、先生が昼ご飯を食べに行こうというので、五人で一緒に近くの韓国料理屋へ出かけることになりました。先生と食事するのは初めてなので、ちょっと緊張しました。ほかの日本人学生は気楽に、皆思い思いに注文していたので、それでわたしも食べたい物を注文することにして、久しぶりに楽しい食事ができました。ところが食べ終わって帰る頃になると、先生も日本人学生たちも財布を取り出したのです。わたしは、いったい今日の食事代をだれが払うのかと一瞬戸惑いました。そして、ビビンバの代金七百五十円がわたしに請求されたときには、本当に信じられない気持ちでとても動揺してしまいました。

### ケース 3

私は、一月ほど前にドイツから日本で仕事をするためにやってきました。ようやくアパートが決まって引っ越しを終えたある朝、会社から次のような電話をもらって、本当に驚きました。

会社の事務の人によると、大家さんから電話があって、洗濯物はよくしぼって、水滴が落ちないようにしないと、下の階に住んでいる人が迷惑する、というのです。私にはとても信じられませんでした。

### ケース 4

わたしは、去年、鎌倉でホームステイしました。そこで近所の四十代の主婦を集めてお餅つきをやりました。やりながら、いろいろ話をしました。その時は、わたしと香港の友達と中国人二人、あとはアメリカ人とヨーロッパ人五、六人くらい。で、日本人の主婦たちは、「劉さん、国はどこですか」「何を勉強していますか」「どこにすんでいますか」とかいった質問をしてくるんです。それで、「ああ、すごいですね、偉いですね、K大学で勉強してて」それで終わりなんです。

その中のリーダーの人が「じゃあ、劉さん、また来て下さい。来週、電話します。」と言ったのに、電話くれないんです。わたし、待っていたんですけど、全然電話来なかったんです。「今度、ぜひ、家に来てください」って言われて名刺くれて住所教えてくれていたので、行ったんです。そしたら、「何の用ですか？」って言われて、本当にショックを受けてしまいました。

#### ケース5

先週、うちの国際交流課に来た韓国人の崔さんという人がいるんですよ。用件はじつに簡単な事務的なことだったんですけど、年齢が同じということでずいぶん話が盛り上がったんです。私も以前から韓国に興味があったんで、NHKの「アンニョンハシムニカ」なんか時々見えますからね。

ところが、崔さん、その後よく国際交流課に来るようになりましてね、何か変になれなれしいんですよ。私だったらとてもただの知り合いには言えないような自分のゼミの不満とか、自分のフィアンのこととか、しまいには、いかに韓国人が日本人を嫌っているか、ですからね。

こちらは事務職員だし、相手は学生でしょ。困っちゃいますよね。